

生物多様性条約 COP-11：バードライフの望むこと

2012年10月10日

インドのハイデラバードで10月8日から始まるCOP-11は、‘生物多様性のための戦略的計画（2011～2020）’を採択した2010年に名古屋で行われたCOP-10以来の締結国会議です。この‘戦略的計画’は2015年あるいは2020年に向けての20項目の愛知ターゲットを含む、‘自然と調和して生活をする’というビジョンを達成するための総合的な枠組みです。これらのターゲットは、生物多様性の喪失原因との取り組み、生物多様性への圧力の軽減、自然環境の喪失率の半減、陸地の17%と海洋・沿岸地域の10%を保全する目標の設定、劣化した地域の少なくとも15%の再生、すべての生物多様性と生態系サービスからの利益の強化などに対する締結国の誓約を含むものです。

ハイデラバードでは、締約国は国別目標の設定と国別生物多様性戦略と行動計画の作成と改定などを通して‘計画’の実施状況と愛知ターゲットに向けての進展度合いを精査する予定です。生物多様性をセクター全体で、また、世界的な持続可能目標の範囲で重要なものとし、また愛知ターゲットの達成のために必要な活動資金を十分に提供することが、COP-11で注目をするべき主要なチャレンジです。

種、サイト、環境および人々という柱を中心としたバードライフ・インターナショナル自身の戦略は‘生物多様性のための戦略的計画’と直結しており、完全にこれを支援するものです。以下はバードライフがCOP-11への参加国に求める主要事項です。

資源動員： バードライフは、‘戦略的計画’の実施のために適切な資金支援が確実に行われるように、COP-11での財政目標合意を含む、‘資源動員のための戦略’の重要性と完全実施の緊急性を力説します。締結国は国別および国際的な資金源をスケールアップし、また革新的な資金調達メカニズムを活用しなければなりません。

バードライフの貢献： バードライフとRSPB（英国のパートナー）の科学者に主導された国際著者チームが最も緊急性の高い二つの愛知ターゲットの中で最も緊急性の高い二つの目標を達成するための財政コストに関する研究を行いました。それは種の保護とサイトの保全で、‘世界的な生物多様性保全ターゲット達成のための財政コスト： 現在の支出と満たされていない必要額’というタイトルで発表されます。

国別生物多様性戦略と活動計画 (NBSAP)： バードライフは、NBSAPを国家レベルでの‘戦略的計画’の実施のためのガイド機構と認め、国の保全ターゲット

と進展度を測る指標を明確にするために、それぞれの国のNBSAPを進展または改善することを継続するよう締結国に求めます。私たちは生物多様性の喪失を遅らせるために、生物多様性を部門政策の中心に置くことを重視します。締結国はNBSAP実施のため先進国から発展途上国への財政支援を増加する場を設けなければならない、またNGOを含むCBD（生物多様性条約）事務局とそのパートナーによる能力開発活動を評価するべきです。

バードライフの貢献： CBDクリアリングハウス・メカニズムにおける鳥類に関する国際的中心組織として、バードライフは各国政府、企業などがCBDとその活動プログラムを実施あるいはモニターすることを助けるためにデータを広範囲にアクセスが出来るようにします。最近始まった‘Country Profiles’はバードライフの国別・地域別の世界的なデータセットを詳細に分析したものです。

指標： バードライフは、締結国が愛知ターゲットの進展度合いを評価するために提案された指標リストを採用することに期待しています。バードライフは、進展度合いが測定できるように各指標に対するデータを集め、編集するための能力開発には財政支援が必要であることを認識しており、資金の提供を寄贈者に呼びかけます。

バードライフの貢献： バードライフはこのような指標を開発することでCBDへの支援を行う‘生物多様性指標パートナーシップ’の一員です。バードライフはCOP-11に合わせて新しい小冊子‘NBSAPの開発と実施： どのようにして2020年生物多様性ターゲットを設定し、達成し、取り組むか’を発行する予定です。

海洋および沿岸性生物多様性： バードライフは、締結国が保全のために環境的、生物学的に重要な地域（EBSA）のリストと、これらの地域の管理と保全を行うために有力な国際的団体からの決定を通知する情報共有メカニズムを認めることに期待しています。

バードライフの貢献： バードライフはすべての海鳥関連のデータをEBSAプロセス内での検討のために海洋IBA（鳥を指標とする重要自然環境）の形式で集め、提出しています。バードライフはCOP-11で海洋IBAの電子版地図を発行します。

島嶼の生物多様性の活動プログラム（PoWIB）の見直し： バードライフはこのプログラムおよび6つの優先的活動分野を実施するための一層の継続的努力の重要性を強調します。6つの分野とは、外来種の駆除（IAS）、気候変動への適応と緩和、海洋保護区の設立と管理、能力開発、遺伝子資源利用へのアクセスと利益の共有、貧困の軽減です。

バードライフの貢献： バードライフはPoWIBの実現を支援するために設立された‘世界島嶼パートナーシップ’のメンバーです。また、バードライフのパートナー団体は多くの島での6つの優先的活動分野に関与しています。

生物多様性と気候変動： バードライフは、REDD+（森林減少 {しんりん げんしょう}・劣化 {れっか} による温室効果 {おんしつ こうか} ガス排出量 {はいしゅつりょう} の削減+）の保護と、CBDの目的達成のためにREDD+の貢献をモニターし評価するための関連指標についての科学的アドバイスを提供することにより、CBD締結国がその重要な役割を認識し、これに取り組むことを締結国に主張します。

バードライフの貢献： バードライフのパートナーシップは多くの国で鳥の個体群に対する気候変動の影響をモニターし、生態系をベースとした適応アプローチの実施を支援します。バードライフはUNFCCC(国連気候変動枠組み条約)の政策および助言活動と、UNFCCCとCBDの間の相乗効果を高める活動を積極的に行います。